

# TTC 提案山行実施記録

2019年7月14日 報告者: T.S (1/2)

山行名	トムラウシ山(2141m)・化雲岳(1954m)		[北海道]						
実施日	2019年7月5日[金]~7月9日[火] 4泊5日 航空機+現地レンタカ利用								
天候/参加人員	天候:コースタイム欄に記載 レベル:★★★☆☆ 参加者:申込12名/実施11名(男性6名/女性5名)								
パーティスタッフ	省略								
参加メンバ	省略								
費用 ¥59,500/人 (厚木発着ベース)  カンパ金: ¥991	<p><b>【航空券代】</b> 羽田⇄新千歳空港(往復):11名分総額=¥219,420 ⇒1人当たり¥20,000(後日1名キャンセル清算)、カンパ金: ¥580</p> <p><b>【関東での発生費用】</b> SeKマカ[本厚木~羽田9名乗車]:(マカ使用料:@10*120km=¥1,200、燃料代:120km*@140/5=¥3,360、ドライブ謝礼:@2,500*2=¥5,000)=¥9,560、サンパキング駐車料(5日間):¥8,200、高速道路代:(厚木IC⇄横浜・町田IC@650*2=¥1,300、狩場新保土ヶ谷IC⇄浮島IC@1,250*2=¥2,500)=¥3,800、宅急便配送料:@4,192*10名=¥41,920 ⇒1人当たり¥6,600、カンパ金: ¥120</p> <p><b>【北海道での発生費用】</b> YOマカ:(マカ使用料:@10*400km=¥4,000、燃料代: ¥6,000、ドライブ謝礼:@5,000*2=¥10,000)=¥20,000、レンタカ:{レンタカ代(5日間):¥37,800、燃料代: ¥5,785、ドライブ謝礼:@5,000*2=¥10,000}=¥53,585、高速道路代(十勝清水IC→千歳東IC:@3,040*2台=¥6,080、十勝清水IC→北広島IC:@3,650*2台=¥7,300)=¥13,380、共同装備・共同食:(個人テント借用料:@1,000*4張=¥4,000、ガスカートリッジ:@777*5個=¥3,885、共同食材料費: ¥15,579、宿泊費:[国民宿舎東大雪荘:@9,870*11名=¥108,570、然別温泉ホテル風水: ¥124,230]=¥232,800、入湯料(東大雪荘): ¥5,500、羊ヶ丘公園展望台: ¥5,720、藻岩山駐車料&amp;ケーブルカー代: ¥4,620、高速道路代(北広島IC~千歳IC): ¥1,540、通信費:¥1,000 ⇒1人当たり¥32,900、カンパ金: ¥291</p> <p><b>【総発生費用】</b> ¥59,500(厚木発着ベース)、カンパ金: ¥991</p>								
歩行時間/行動時間									
	7/6[土]			7/7[日]			7/8[月]		
	歩行	休憩	行動	歩行	休憩	行動	歩行	休憩	行動
カイトブック	6:20	-	-	6:15	-	-	4:45	-	-
計画	8:30	2:25	10:55	7:00	2:20	9:20	5:45	1:15	7:00
実績	6:58	1:42	8:40	7:12	2:18	9:30	5:04	0:58	6:02
コースタイム									
<b>7/5[金]</b>	天候:曇りのち雨 送迎バス SKY703(ANA4711) (買出し、昼食) 本厚木===サンパキング羽田浮島===羽田空港=====新千歳空港===十勝清水===トムラウシ温泉大雪荘 4:15 5:15-30 5:40-6:45 8:20-9:30 14:00								
<b>7/6[土]</b>	天候:曇り時々晴 33' 52' 1:48(休12') トムラウシ温泉大雪荘===短縮コース登山口---温泉コース分岐---カムイ天井-----コマドリ沢出合--- 4:00起床-5:15 5:40-50 6:23-30 7:22-30 9:30-40 1:15(休13') 45' 55' 30' (休15') 20' -----前トム平---トムラウシ公園---南沼キャンプ場(テント設営)---トムラウシ山---南沼キャンプ地 11:08-20 12:05-15 13:10								
<b>7/7[日]</b>	天候:晴 25' 30' 1:27(休13') 30' 45' 南沼キャンプ地---トムラウシ山---北沼分岐---天沼(日本庭園)---ヒサゴ沼分岐-I--- 4:00起床-5:20 5:45-6:10 6:40-45 8:25-45 9:15-25 35' 1:00 1:30(休10') 30' ---化雲岳---忠別岳分岐(ウルップ草群生地)---天沼-----北沼分岐---南沼キャンプ地 10:10-35 11:10-25 12:25-30 14:10-20 14:50								
<b>7/8[月]</b>	天候:晴 50' 40' 45' 1:40(休10'*3回) 47' 南沼キャンプ地---トムラウシ公園---前トム平---コマドリ沢出合-----カムイ天上--- 4:00起床-5:50 6:40-45 7:25-35 8:20-25 10:35 22' (入浴、昼食) ---温泉コース分岐---短縮コース登山口===トムラウシ温泉=====然別温泉ホテル風水 11:22-30 11:52								

然別温泉===扇ヶ原展望台===羊ヶ丘公園===藻岩山===新千歳空港===羽田空港===サンパキング羽田浮島===本厚木  
 ~8:40 16:20-19:10 20:50-21:20 21:30 22:30-23:00

### コースの概要、特記事項、反省事項等

**【いきさつ】** 2008年7月に実施された『大雪山～トムラウシ山縦走』は、恐らく花の当たり年に恵まれたと思われるが、白雲岳、高根ヶ原、化雲岳等で素晴らしいお花畑に遭遇して最もメモリアルな山行の1つとして心に刻み、またいつか機会を作って再訪することを誓った。あれから11年経ち、今回はトムラウシ短縮コース登山口から入り、南沼キャンプ地にテントを張って拠点として、ロックガーデン、日本庭園、化雲岳等の周辺の自然美とお花畑を軽装で存分に楽しむことを主眼に計画した。翌2009年7月にツアー会社主催の山行で何名もの方が犠牲となる大きな事故が発生しており、“晴れば天国、荒れば地獄”を肝に銘じて特に装備類には細心の注意を払い、また荒天などにより山中での停滞を余儀なくされるような事態も想定して予備日程を織込んで準備を進めた。

**【コースの概要】** ●トムラウシ温泉から車で移動(所要約25')して『トムラウシ短縮コース登山口』を利用することにより、トムラウシ温泉からの歩行に対して往路:1時間半以上、復路:1時間以上短縮することができ、効率的であった。  
 ●『登山口～カムイ天井』の間は特に蚊が多く発生しており防虫剤で対策したが、それでも何箇所か刺されてしまった。  
 ●『カムイ天井～コマドリ沢出合』の間は、11年前はドロドロのぬかるみと両サイドに茂った笹藪で非常に歩きにくい道が長く続いて苦労した記憶があるが、木道設置でかなり整備され、笹もきれいに刈られていて格段に歩きやすかった。登山道が整備されたことと合わせて、今回は往路、復路とも好天に恵まれたことから、ほとんど問題なく歩くことができ計画に対して歩行時間を大幅に短縮する結果となったが、雨天時にはもっと時間がかかることが予想される。今回の歩行時間実績を参考に計画される場合には、ぬかるんでいることを想定して少し長めに設定されることをお奨めしたい。  
 ●実施直前に現地に関い合わせた際には「例年に比べて雪は少ない」という話であったが、11年前の同時期に実施した山行と比べると雪が多く残っており、お花のピークはもう少し後かもしれないという気がした。  
 ●それでもコース全体を通して、エゾコザクラ、チングルマ、エゾツガザクラ、キバナシャクナゲ、ハクサンイチゲ、ミネズオウ、イワウメ、ウルップソウ等々のたくさんの花々に出会うことができ満足することができた。  
 ●『日本庭園』の中心地である天沼の木道休憩地では寒くもなく暑くもないポカポカ陽気に誘われて、全員でゴロリと横になってのんびりと至福の時間を過ごすことができた。

●11年前の強烈な印象から『化雲岳』周辺の一面的なお花畑を楽しみにしていたが、今回はあまり恵まれなかった。特に一面に咲き乱れていたコマクサの群生に出会うことができなかつたのは残念であった。その代わりではないが、行き違った方に教えていただいたウルップソウの群生に遭遇でき、これには大満足であった。  
 ●南沼キャンプ地は水量が豊富でキャンプ地として問題ない。携帯トイレブースが設置されており、携帯トイレは必携である。  
 ●『トムラウシ山』には、南沼キャンプ地に到着後に山頂の雲が切れたところを狙って11名全員で登頂したが、これに飽き足らず翌朝オールアラウンドビューを楽しむため再登頂(8名参加)し、更に翌々朝にはご来光を目指して3回目の登頂(4名参加)を果たした。天場での2日間の夜には最高レベルの『満天の星+天の川』を見ることができ、2日目は丁度“七夕さま”の夜でロマンチックな気分を味わった。山の中ではずっと快晴続きで、好天の恩恵を存分に感じる事ができた。  
 ●『ロックガーデン』に代表される岩がゴロゴロしたコースを辿る際に、ペイントされたマークを頼りに進んでいくが、消えかかっているマークが結構あった。今回は晴天に恵まれたことから基本的には問題はなかったが、天候が優れなかったり、霧がかかっているような場合には道迷いが発生しやすいと思われ、注意が必要である。

**【特記事項】** ●前泊の東大雪荘でM夫妻あるいはSeKさんによって希望者のパッキングチェックをしていただき、荷物が多めの方はかなりスリムにすることができた。これも車を登山口に止めてピストンするコース設定のメリットであった。  
 ●南沼キャンプ地でキタキツネと思われる被害に遭遇した。リュックをテント外にビニール袋を被せて保管していたが、夜中に物音に気づいて確認したところ、袋を破かれて外されていた。幸い実害はなかったが注意しなければならない。  
 ●今回のコースの中で、ナキウサギ、オゴジョ、エゾシマリス、キタキツネにほぼ全メンバが遭遇することができた。しかも、目の前あるいは足元といったところで愛嬌を振りまく姿は微笑ましい限りであった。

●下山後『然別温泉』での宿泊は、山中でのトラブル等で停滞を余儀なくされた場合の予備日でもあったが、これをダンパとして使う必要がなかったのは幸いであった。最終日はネイチャーセンタでレジャーを楽しむことで考えていたが、東京の女子高校生の団体と重なって断念せざるを得なくなってしまった。代替として札幌より参加されたYOさんの案内で、札幌近郊の『羊ヶ丘展望台』および『藻岩山』を訪れ札幌市および周辺の山々の眺望を存分に楽しむことができた。

**【反省事項等】** ●テント泊であり重量をできるだけ抑えることを考えるあまり、『2人用\*4張+3人用\*1張』としたが、11名が寝るのにピツパリで、荷物(リュック)置き用としてツェルト1張を追加しておけばよかったと感じた。  
 ●会計については、違う条件が絡み合って複雑な処理になったことと合わせて、非公式である嗜好品の会計も一手中にお願いして大きな負担が集中し、集計処理に時間がかかり、長時間お待たせする結果となってしまった。「スマホでExcelを活用して効率的にできる」とのアドバイスをいただいております、今後活かせるようにしておきたいと考えている。  
 ●山中2泊3日をテント、食料持参で歩く山行に11名もの方々に参加していただいた。十分な基礎トレーニングを積み上げるようお願いしたが、今回のチームは足並みがそろってとても歩きやすかった。5日間、常に笑いの絶えない和やかで楽しい山行になったのは、素晴らしいチームビルディングのお陰と感じた。心よりお礼申し上げたい。 -以上-